

CASBEE・広島（2010年ver.1）			用途等で評価が不要となる項目について は、自動的に網掛けが入ります		■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2009年版					
(仮称)井口明神マンション計画			欄に数値またはコメントを記入		■ベース評価ソフト：CASBEE-NCb_2008(v.3.2)					
スコアシート			実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
					評価点	重み 係数	評価点	重み 係数		
Q 建築物の環境品質									3.1	
Q1 室内環境						0.40			3.3	
1 音環境					2.6	0.15	2.8	1.00	2.7	
1.1 騒音			コンクリート厚180以上、TLd59乾式間仕切を採用 Δ LL(1)~4以上		3.0	0.40	3.0	0.40		
1 暗騒音レベル		3.0		1.00	3.0	1.00				
2 設備騒音対策				-		-				
1.2 遮音				3.0	0.40	3.5	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0		1.00	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能				-	4.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	4.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	0.20				
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境					2.6	0.35	3.0	1.00		2.9
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	1.00			
1 室温設定		3.0		0.63	-	-				
2 自然換気・気流制御性				-		-				
3 外皮性能		3.0		0.38	3.0	1.00				
4 ゾーン別制御性				-		-				
5 温度・湿度制御				-		-				
6 湿度制御				-		-				
7 時間帯空調・気流制御性				-		-				
8 気流・気圧				-		-				
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境					2.3	0.25	3.5		1.00	3.3
3.1 屋光利用				リビング側に開口を大きく確保	1.8	0.30	4.0		0.50	
1 屋光率		1.0	0.60		5.0	0.50				
2 方位別開口			-			0.30				
3 屋光利用設備		3.0	0.40		3.0	0.20				
3.2 グレア対策			2.0		0.30	3.0	0.50			
1 障子設置			-			-				
2 屋光制御		2.0	1.00		3.0	1.00				
3.3 照度			3.0		0.15	-	-			
1 照度		3.0	1.00		-	-				
2 照度向上策			-			-				
3.4 照明制御			3.0		0.25	-	-			
4 空気質環境					4.0	0.25	4.5	1.00	4.4	
4.1 発生源対策			VOCを含まない又は非常に放出量の少ない建材を採用している		4.0	0.60	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		4.0		1.00	5.0	1.00				
2 化学汚染物質対策				-		-				
3 化学汚染物質対策				-		-				
4 化学汚染物質対策				-		-				
4.2 換気				4.0	0.40	3.6	0.38			
1 換気量		5.0		0.50	4.0	0.33				
2 自然換気性能				-	4.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		3.0		0.50	3.0	0.33				
4 換気設備				-		-				
4.3 運用管理					-		-			
1 CO ₂ の監視				-		-				
2 喫煙の制御				-		-				
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.3		
1 機能性				1.8	0.40	3.8	1.00	3.5		
1.1 機能性・使いやすさ			Gbitクラスのブロードバンドが利用可能な環境を整備	1.0	0.60	5.0	0.60			
1 広さ・収納性				-		-				
2 高度情報通信設備対応				-	5.0	1.00				
3 バリアフリー計画		1.0		1.00		-				
1.2 心理性・快適性				3.0	0.40	2.0	0.40			
1 広さ感・景観				-	3.0	0.50				
2 リフレッシュスペース				-		-				
3 内装計画		3.0		1.00	1.0	0.50				
1.3 維持管理					-		-			
1 維持管理に配慮した設計				-		-				
2 維持管理用機能の確保				-		-				
2 耐用性・信頼性					3.2	0.31			-	3.2
2.1 耐震・免震				住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている	3.0	0.48			-	
1 耐震性		3.0	0.80			-				
2 免震・制振性能		3.0	0.20			-				
2.2 部品・部材の耐用年数			3.7		0.33		-			
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.23			-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23			-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09			-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08			-				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.15			-				
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23			-				
			3種(排水用鑄鉄管、塩ビライニング鋼管、水道用ポリエチレン管)共B以上採用							

	2.3 情報の更新性				-		-	
	2.4 信頼性			3.2	0.19		-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	光ケーブルを採用、MDFの浸水の危険性がない場所に設置	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.0	0.29	3.4	1.00	3.3
	3.1 空間のゆとり		階高3.0m以上		-	3.8	0.50	
	1	階高のゆとり			-	5.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり				-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性	住宅性能評価、維持管理対策等級(共用配管)2、(専用配管)3の規定を満たしている	3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50		-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			LED照明を積極的に採用	5.0	0.40		-	5.0
4 効率的運用					-		-	-
4.1 モニタリング					-		-	
4.2 運用管理体制					-		-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護				3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水			節水型便器、節湯器具等の採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	1.00		-	
2 雑排水再利システム導入の有無					-		-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.63		-	3.3
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20		-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			外壁タイル トイレ	4.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			内装材と設備が錯綜していない	4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68		-	
1 消火剤			ハロン消火材を使用していない	4.0	0.33		-	
2 断熱材			ノンフロン断熱材を採用	5.0	0.33		-	
3 冷媒				3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			住宅性能評価の劣化対策等級3の規定を満たしている	4.9	0.33		-	4.9
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.3	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減				-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制			駐車台数を住戸分以上確保している	5.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	
1 騒音				3.0	0.33		-	
2 振動				3.0	0.33		-	
3 悪臭				3.0	0.33		-	
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	
1 風害の抑制				3.0	0.70		-	
2 日照阻害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告照明等の使用なし	5.0	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-	